TOTO

バスリフト

EWB100RR(R), EWB103(R)
EWB100RS, EWB101S, EWB103R, EWB102R

この説明書は、お客様もご使用されます。
施工後に必ずお客様にお渡しください。

安全のために必ずお守りください

取り付けの前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。この説明書では、機器を安全に正しく取り付けていただき、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味はつぎのようになっています。

表　示	意　　味
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。

絵表示については、つぎのような意味があります。

表　示	意　　味	表　示	意　　味
⃠	一般的な禁止	⃠	水かけ禁止
!	必ず行う		

専用の充電器、本体の注意表示にも沿ってお使いください。取り扱いを誤ると思わぬ事故や故障の原因となります。

⚠警告

禁止	**充電器で電池を充電する時は、交流100V以外使わない。** ●火災の原因になります。
必ず実行	**電源プラグを抜くときは、必ずプラグ本体を持って引き抜くこと。** ●コードを引張るとプラグやコードが傷んで、火災や感電の原因になります。 **電源コードを折り曲げたり、重いものをのせるなど乱暴に扱わない。** ●火災、感電のおそれがあります。
禁止	**ガタついているコンセントは使わない。** ●火災や感電の原因になります。

⚠警告

禁止	**コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない。** ●たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。
ぬれ手禁止	**濡れた手で、電源プラグを抜き差ししない。** ●感電の原因になります。
水かけ禁止	**充電器、電源プラグ、電池に水やお湯をかけない。** ●火災や感電の原因になります。
必ず実行	**試運転の際は、シートが確実に取り付けられていることを確認する。** ●取り付けが不十分だと使用中にシートが外れ、けがをするおそれがあります。
必ず実行	**セーフティーバーが浴槽に当たっていないか確認する。** ●当たっているとシートが上昇できず、おぼれたりするおそれがあります。
禁止	**セーフティーバーガイドピンが浴槽に当たったら、それ以上アームを広げないこと。** ●ピンが変形すると、シートが上昇できずおぼれたりするおそれがあります。
必ず実行	**使用しないときや、お手入れの前には電池を取り外して浴室外の湿気のない場所に保管する。** ●さびの発生と電池の寿命が短くなるおそれがあります。また、昇降動作が停止しておぼれるおそれがあります。
必ず実行	**バスリフトは、使用の浴槽に合わせてアームの幅調整とフック付浴槽内壁ストッパーの調整が必要です。確実にアームの幅調整とフック付浴槽内壁ストッパーの調整を行い、ガタツキがないことを確認する。** ●使用中にバスリフトが転落し、おぼれたりけがをするおそれがあります。
禁止	**充電器を浴室内や湿気の多い場所に持ち込んで充電しない。** ●感電や火災のおそれがあります。

⚠注意

 必ず実行	**バスリフトを持ち運ぶ場合は、手掛かり部分を持ち、足元や手、およびバスリフトの水気をふき取ってから行う。** ●誤ってバスリフトを落とすとけがをしたり、浴槽や浴室を破損するおそれがあります。

⚠注意

必ず実行	**バスリフト本体を浴槽に載せる際は、浴室壁面とバスリフトのアームの間や、バスリフトと浴槽の間に手や指を挟まないように注意する。** ●けがをするおそれがあります。
必ず実行	**バスリフトが浴槽内に落下しない位置に仮置きする。** ●製品や浴槽が破損するおそれがあります。
禁止	**バスリフトは浴槽の操作ボタン類等の突起物や水洗金具等の浴室内の他の機器類にぶつけたり、その上に載せたりしない。** ●他の機器類を破損するおそれがあります。
禁止	**幅調整ねじを締めつけ過ぎない。** ●浴槽を破損するおそれがあります。
必ず実行	**バスリフトを持ち上げたり、傾けたりするときは、バスリフトに挟まれないように注意する。** ●けがをするおそれがあります。
必ず実行	**バスリフトを持ち上げたり、傾けたりするときは、バスリフトを落とさないように注意する。** ●けがをしたり、浴槽や浴室を破損するおそれがあります。
必ず実行	**手すり付バスリフトの壁側用フラップは長さ調整が必要です。バスリフトの寸法に合わせて必ず調整する。** ●手挟みなどのけがのおそれがあります。
必ず実行	**シート取付シャフトを押し込むときは、手を挟まれないように注意する。** ●けがのおそれがあります。
必ず実行	**シートが確実に取り付けられていることを確認する。** ●取り付けが不十分だとシートが落下したり、おぼれたりけがをするおそれがあります。
禁止	**シート取付シャフトを持ってバスリフトを持ち上げたりしない。** ●本体の故障によりけがをするおそれがあります。
禁止	**シートはスライド方向を上下に持たない。** ●シートがスライドし、思わぬけがをするおそれがあります。

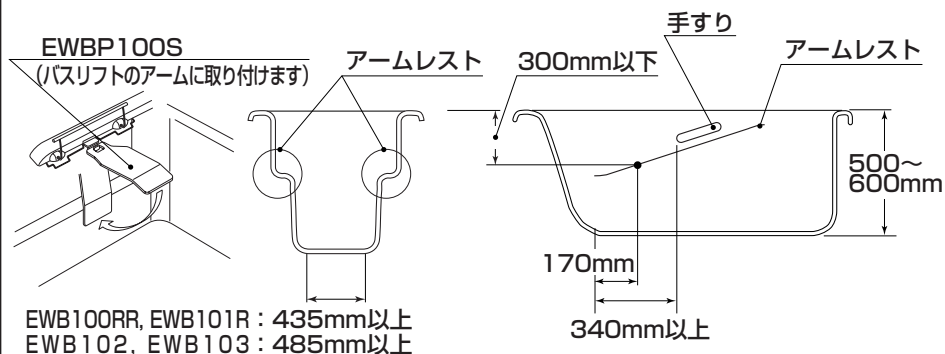
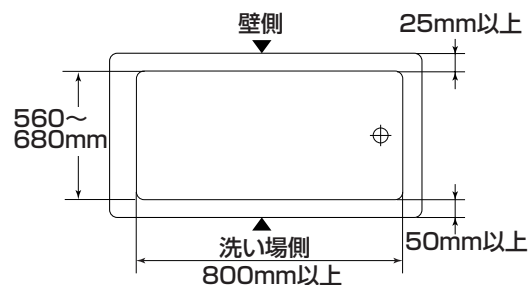
お取り付けの前に

1　バスリフトをお取り付けになる浴槽を確認してください。

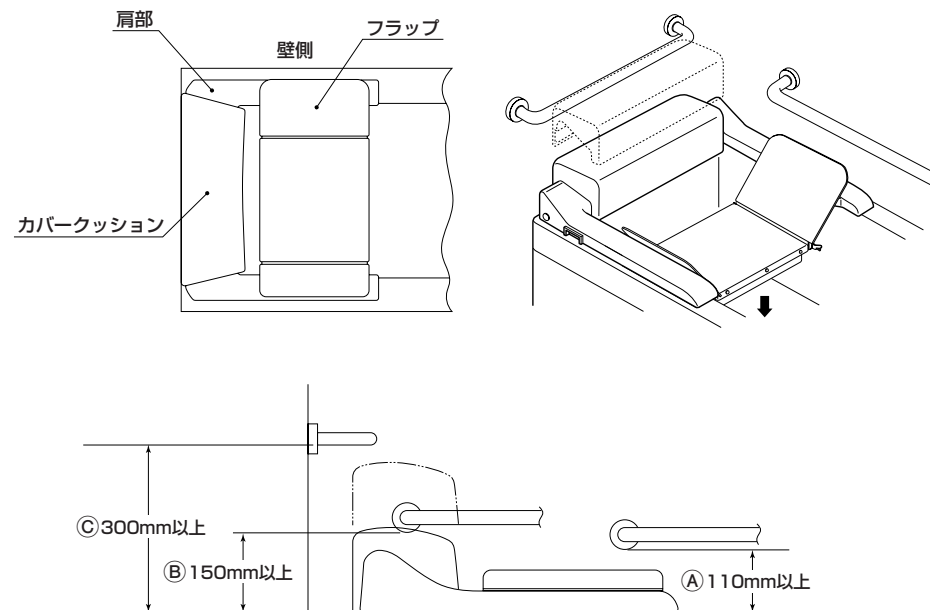
■浴槽の種類について
○お取り付けできる浴槽　…和風バス、和洋折衷バス
×お取り付けできない浴槽…洋風バス、スーパーエクセレントバス等の特殊な形状の浴槽
　　　　　　　　　　　　ヘッドレスト付浴槽、エアブロー機能付浴槽

■浴槽の形状・寸法について
○お取り付けできる浴槽　…下図の条件に当てはまる浴槽

浴槽内の長さが800mmの場合、バスリフトに座った際のひざ前の空きがせまくなり、ご使用される方の状態によっては使用に適さない場合もありますので、十分にご注意ください。

アームレスト付浴槽の場合、別売品のアームレスト乗越キット（EWBP100S）が必要です。

×お取り付けできない浴槽…上図の条件に当てはまらない浴槽

■その他のご注意
60℃以上の室温で使用、保管しないでください。
故障の原因となります。

■手すりの設置条件

手すりを設置する際は、使用者の身体状況にあわせて設置位置を決定してください。
ただし、指挟み等を考慮し浴槽リム上面から手すりの最下端までは以下の寸法を守って取り付けてください。

Ⓐフラップの上面に取り付ける場合：110mm以上離すこと。
Ⓑ肩部の上面に取り付ける場合：150mm以上離すこと。
Ⓒカバークッションの上面に取り付ける場合：300mm以上離すこと。
（電池交換の際にカバークッションを取り外す必要があります）

梱包内容

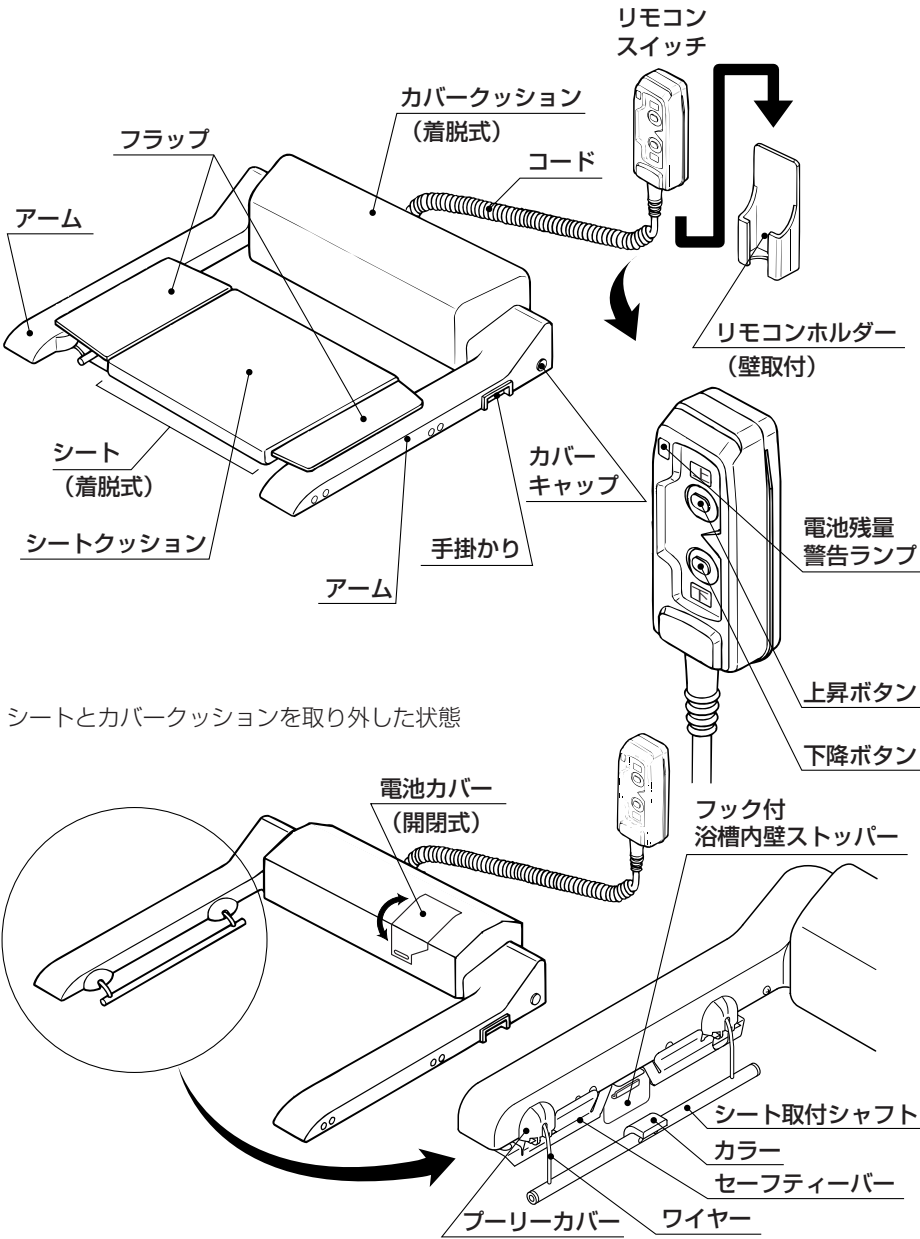
2　梱包内容を確認してください。

箱の中には以下の物が入っています。

名　称	印刷物組品	バスリフト本体	シート
数　量	一式	1台	1台
形　状	TOTO　取扱説明書 TOTO　施工説明書 TOTO　使い方ガイド		

名　称	フラップ　小	フラップ　大	クリップA	カバーキャップ	スペーサーセット
数　量	1個	1個	3個	2個	1式
形　状					A B C 各2枚

名　称	充電器	電池
数　量	1台	1個
形　状		

各部の名称

取り付け方

1　まず充電を！

⚠警告 禁止

充電器を浴室内や湿気の多い場所に持ち込んで充電しない。
●感電や火災のおそれがあります。

指定の電池以外はご使用にならないでください。故障の原因となります。
バスリフトは充電商品です。
最初は電池が空の状態なので、取扱説明書の「つかいかた」を参照し電池を充電してください。（充電時間は約30分です）

2　バスリフト本体を浴槽に設置します。

⚠注意 必ず実行

バスリフトを持ち運ぶ場合は、手掛かり部分を持ち、足元や手、バスリフトの水気をふき取ってから行う。
●誤ってバスリフトを落とすとけがをしたり、浴槽や浴室を破損するおそれがあります。

⚠注意 必ず実行

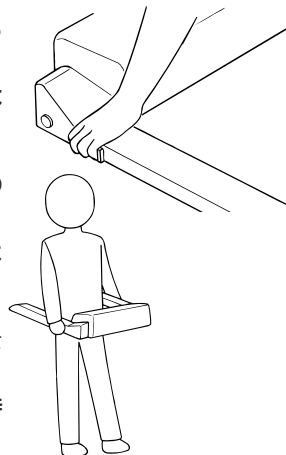
バスリフト本体を浴槽に載せる際は、浴室壁面とアームの間やバスリフトと浴槽の間に手や指を挟まないように注意する。
●けがをするおそれがあります。

バスリフトを浴槽に設置する場合は、浴槽の水を抜いてから行ってください。
誤ってバスリフトを落として水没させると、故障の原因になります。

バスリフトには、左右両側に手掛かりが付いています。この手掛かりにしっかりと指を掛けて持ち上げてください。
バスリフト本体の重量は約15kgです。誤って落とさないように十分ご注意ください。

バスリフト本体を一人で持ち運ぶ場合はカバークッションを前に向け、体を左右アームの間に入れるようにしてください。
一人で持ち運ぶのが困難な場合は無理をせず、二人以上で持ち運んでください。

①バスリフトを仮置きします。

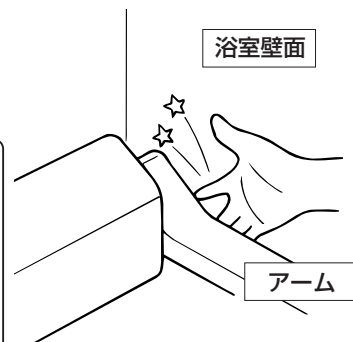
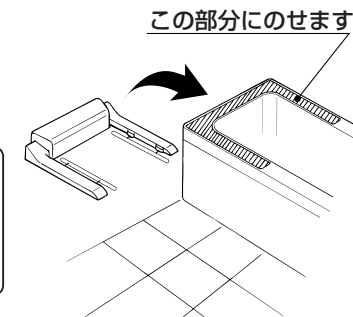
浴槽を傷つけないように注意しながら、バスリフト本体を浴槽の背もたれ側の三方のリムに静かに載せてください。

⚠注意 必ず実行

バスリフトが浴槽内へ落下しない位置に仮置きする。
●製品や浴槽が破損するおそれがあります。

ポイント
工場出荷の状態では、バスリフト本体の幅は最小に調整してあります。

指挟みに注意してください。

⚠注意 必ず実行

バスリフト本体を浴槽に載せる際は、浴室壁面とバスリフトのアームの間や、バスリフトと浴槽の間に手や指を挟まないように注意する。
●けがをするおそれがあります。

ご使用になる方の状態などにより、反対側（排水口側）にバスリフトを取り付ける場合は、
・水栓やシャワーフック
・バスアダプター（追焚口）
・浴槽ワンプッシュ排水栓の操作ボタンや給湯機のリモコンなどがバスリフトやご使用になる方の体に当たらないか、また、問題なくこれらを操作できるか十分にご確認ください。

 注意 禁止

バスリフトは、浴槽の操作ボタン類等の突起物や水栓金具等の浴室内の他の機器類にぶつけたり、その上に載せたりしない。
●他の機器類を破損するおそれがあります。

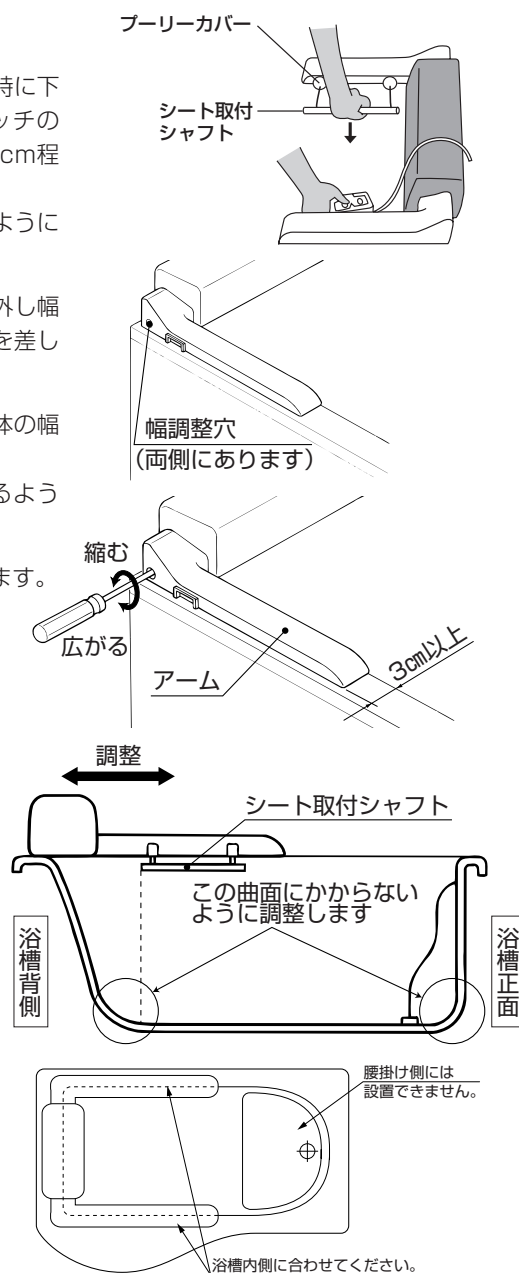
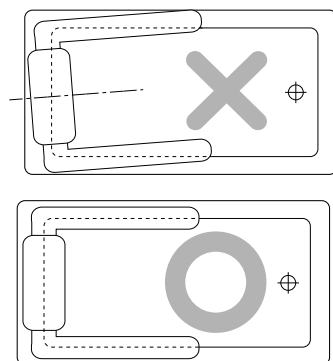
②バスリフトの仮幅調整を行います。

左右のシート取付シャフトを両方同時に下に押しつけながら、リモコンスイッチの「下」ボタンを押し、ワイヤーを10cm程度下げます。
このとき、ワイヤーをたるませないように注意してください。

バスリフト本体のカバーキャップを外し幅調整穴（洗い場側）に⊕ドライバーを差し込みます。

⊕ドライバーを回してバスリフト本体の幅を仮調整します。
左右のアームが浴槽に3cm以上載るようにしてください。

③バスリフトの前後の位置調整を行います。
シートが浴槽底面まで下降した際にシート取付シャフトが浴槽の背もたれ側（または正面）曲面に干渉しないようにバスリフト本体の前後設置位置も調整してください。

バスリフトは斜めに設置しないでください。

3　バスリフト本体の幅を調整します。

⚠警告

必ず実行

バスリフトは、使用の浴槽に合わせてアームの幅調整とフック付浴槽内壁ストッパーの調整が必要です。確実にアームの幅調整とフック付浴槽内壁ストッパーの調整を行い、ガタツキがないことを確認する。

●使用中にバスリフトが転落し、おぼれたりけがをするおそれがあります。

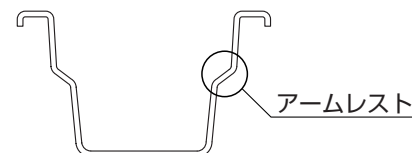
⚠注意

禁止

幅調整のねじを締めつけ過ぎない。

●浴槽を破損するおそれがあります。

ポイント

浴槽の形状をご確認ください。

・アームレスト付浴槽の場合は、別売品の「アームレスト乗越キット」をご購入してください。

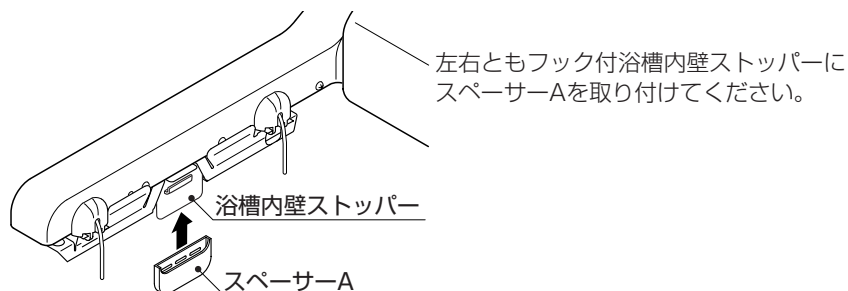
・取り付け方法は「アームレスト乗越キット」の取扱説明書をご確認ください。

※当社バスピアKCシリーズには、専用のアームレスト乗越キット（EWBP103AR）が必要です。

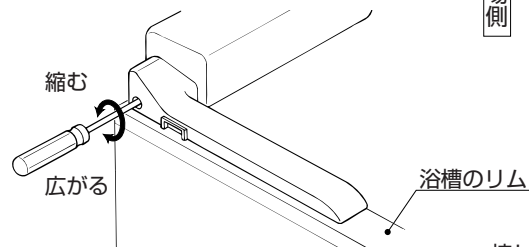
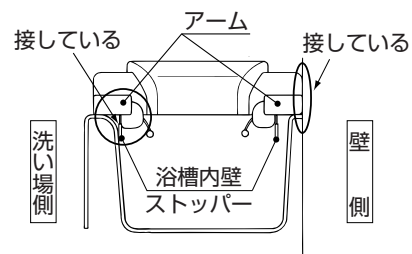
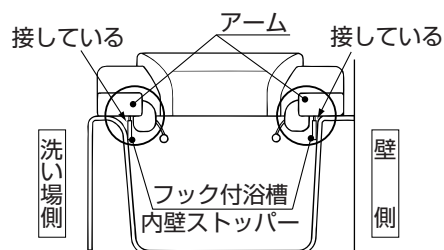
バスピア品番	アームレスト乗越キット品番
KC1620、KC1616、KC1216	EWBP103AR

（2004.4 現在）

①フック付浴槽内壁ストッパーにスペーサーAを取り付けてください。
最後まで押し上げて差し込んでください。

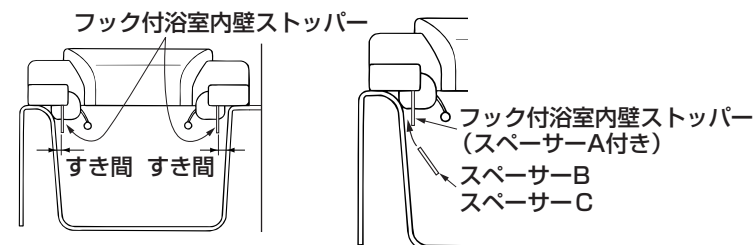
左右ともフック付浴槽内壁ストッパーにスペーサーAを取り付けてください。

②幅調整を行います。

⊕ドライバーを回してバスリフト本体の幅を調整します。
左右のフック付浴槽内壁ストッパーが浴槽内側に接するように調整します。

接している
アーム
接している
洗い場側
フック付浴槽内壁ストッパー
壁側

お使いの浴槽の壁側のリム幅がせまくて壁側のフック付浴槽内壁ストッパーが浴槽内側に接するように調整できない場合は、壁側のアームを浴室壁面に接するように調整してください。（洗い場側はフック付浴槽内壁ストッパーが浴槽内側に接するようにしてください）

⚠警告

禁止

セーフティーバーガイドピンが浴槽に当たったら、それ以上アームを広げないこと。
●ピンが変形すると、シートが上昇できずおぼれたりするおそれがあります。

③フック付浴槽内壁ストッパーの調整をします。
（浴槽形状により、すき間が発生した場合この作業を行ってください。）
フック付浴槽内壁ストッパーと浴槽のすき間量に応じてスペーサーB、スペーサーCを取り付けます。

スペーサーB、スペーサーCを取り付けるとき、バスリフトの幅を若干縮めると取り付け作業がしやすいです。このとき、バスリフトの落下や、バスリフトと浴槽等の手挟みにご注意ください。

⚠注意

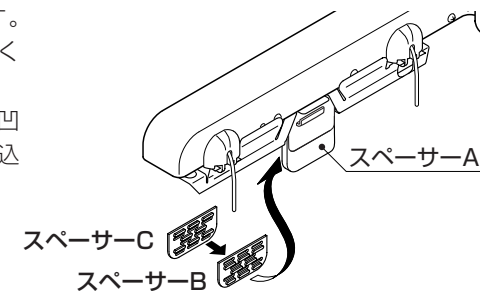
必ず実行

バスリフトを持ち上げたり、傾けたりするときは、バスリフトに挟まれないように注意する。
●けがをするおそれがあります。

⚠注意

必ず実行

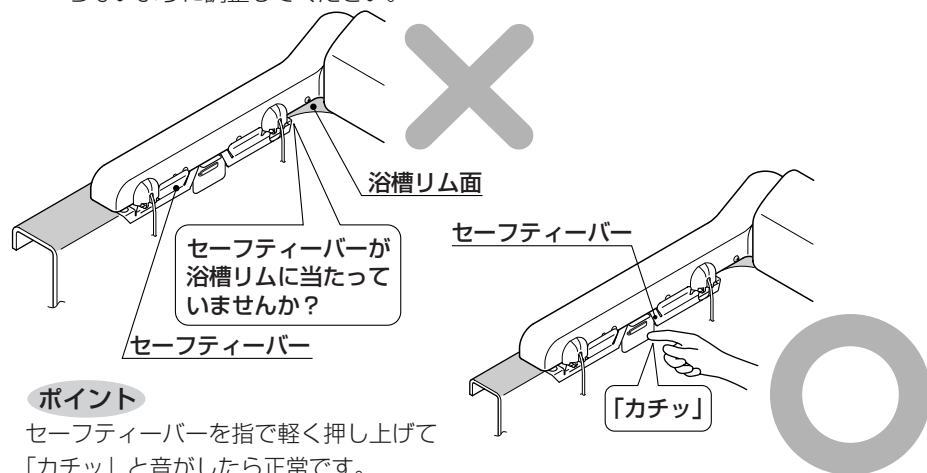
バスリフトを持ち上げたり、傾けたりするときは、落とさないように注意する。
●けがをしたり、浴槽や浴室を破損するおそれがあります。

スペーサーAは、裏側に凹があります。その凹にスペーサーBの凸を合わせ強く押し込んでください。
スペーサーCも同様にスペーサーBの凹にスペーサーCの凸を合わせ強く押し込んでください。

ポイント
すき間が、左右で異なる場合には、バスリフトが浴槽中央にセットされているか再度確認してください。
それでも左右のすき間が異なる場合には、スペーサーB、Cの取付枚数で左右のすき間量の差を調整してください。

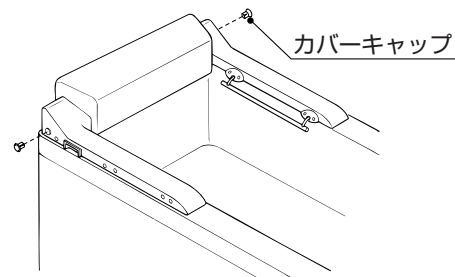
④幅調整後の確認

1）アーム幅は広すぎませんか？　フック付浴槽内壁用ストッパー用スペーサーが浴槽に当たったとき、ドライバーを半回転から1回転程度もどし、若干ゆるめる程度が最適です。

⚠注意	禁止	**幅調整のねじを締めつけ過ぎない。** ●浴槽を破損するおそれがあります。

2）セーフティーバーをチェックしてください。
セーフティーバーが浴槽に当たっている場合は、バスリフトの位置をずらして当たらないように調整してください。

ポイント
セーフティーバーを指で軽く押し上げて「カチッ」と音がしたら正常です。

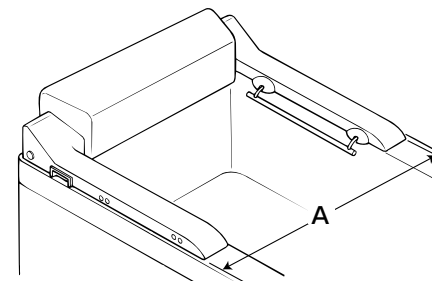
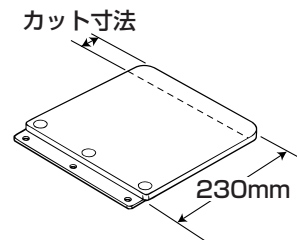
⚠警告	必ず実行	**セーフティーバーが浴槽に当たっていないか確認する。** ●当たっていると、シートが上昇できなく、おぼれたりするおそれがあります。

⑤幅調整部のカバーキャップを取り付けます。

ポイント
手すり付きタイプ（EWB100RST1,T2）の場合には、事前にフラップのカット作業をしてください。

⚠注意	必ず実行	**手すり付きタイプバスリフトの壁側用フラップはバスリフトの寸法にあわせて必ず長さ調整をすること。** ●手挟みなどのけがのおそれがあります。

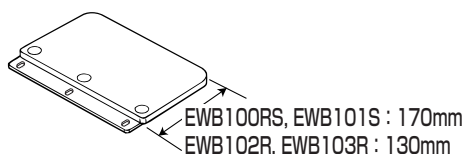
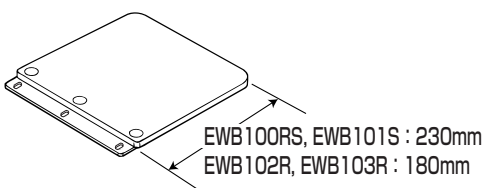
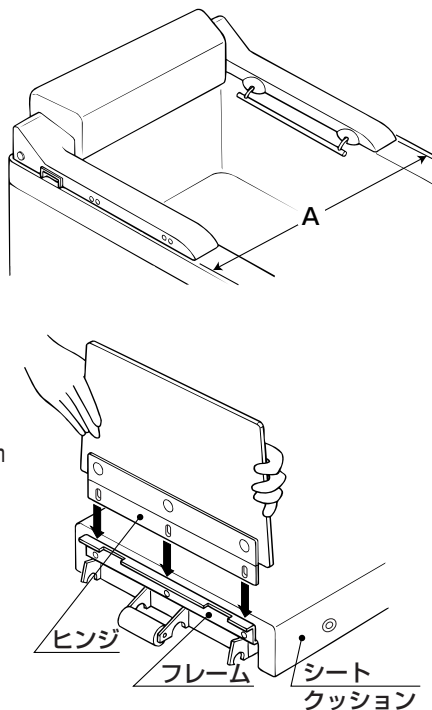
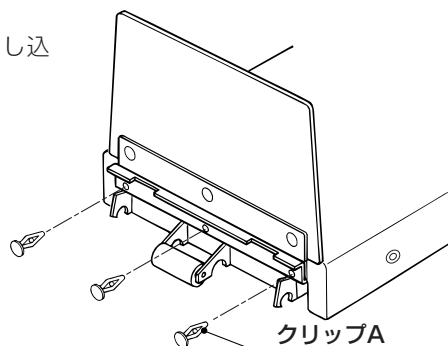
調整のしかた

1）バスリフト設置後のA寸法を測ります。
フラップのカット寸法は、次の通りです。

カット寸法（mm）= 760mm － A寸法（mm）

2）フラップ大をカットしてください。
下図の部分をのこぎり等でカットしてください。
カット後は、フラップの角部およびエッジ部をやすり等でなめらかに丸めてください。

4　シートにフラップを取り付けます。

バスリフトの幅寸法によって使用するフラップの大きさが異なります。
取り付けるフラップを間違えないようにご注意ください。
（表側を上にして取り付けてください。下図の面が表側です。）

● 右図のA寸法が705mm未満の場合
フラップ小を使用します。

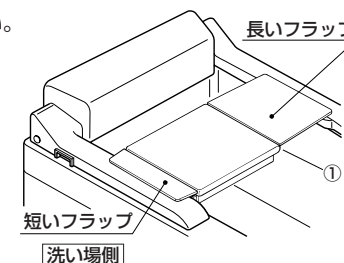
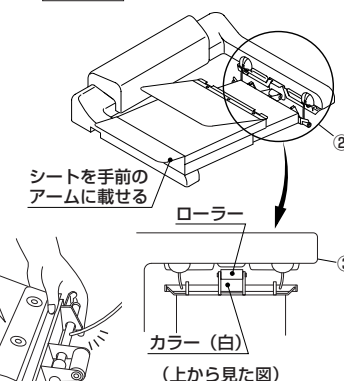
A

● 右図のA寸法が705mm以上の場合
フラップ大を使用します。

①シートにフラップのヒンジを差し込みます。
ヒンジの穴とフレームの穴の位置を合わせてシートクッションとフレームの間にヒンジを差し込んでください。

②ヒンジを固定します。
フレームの上からクリップAを3カ所押し込み、ヒンジを固定してください。

5　バスリフト本体にシートを取り付けます。

①シートは、短いフラップを洗い場側に向けてください。

⚠ 注意

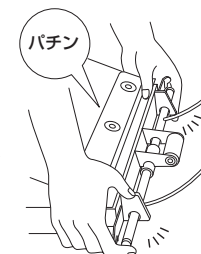
禁止

シートはスライド方向を上下に持たない。
● シートがスライドし、思わぬけがをするおそれがあります。

長いフラップ
①
短いフラップ
洗い場側

②フラップを跳ね上げ、取り付け位置を確認しながら作業してください。
このとき、シートを手前のアームの上に仮置きすると作業しやすいです。
③シート取付シャフトの「カラー」と、シートの「ローラ」の位置を合わせます。

ポイント
このとき、人さし指でシート取付シャフトを呼び込むと簡単に位置合わせできます。（右図参照）

④「シート取付シャフト」とシートの「切欠き部」の位置を合わせます。
⑤「シート取付シャフト」を「パチン」と音がするまでシートの「切欠き部」に押し込みます。

②
シートを手前のアームに載せる
ローラー
③
カラー（白）
（上から見た図）

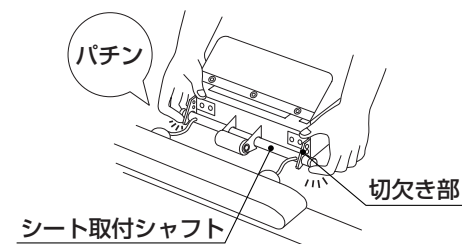
⚠注意

必ず実行

シート取付シャフトを押し込むときは、手を挟まないように注意する。
● けがのおそれがあります。

⑥反対側も同じ要領で行ってください。
「シート取付シャフト」を「パチン」と音がするまでシートの「切欠き部」に押し込みます。

⚠ 警告

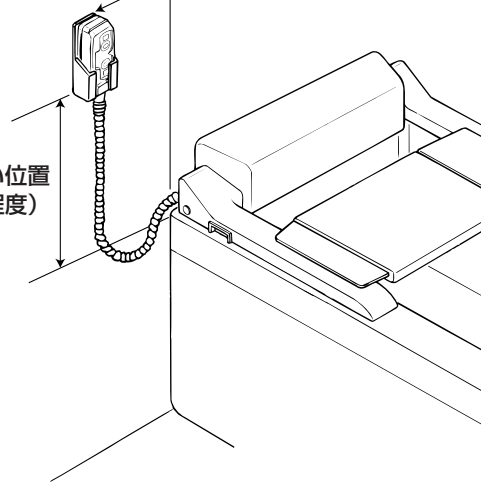
必ず実行

シートが確実に取り付けられていることを確認する。
● 取り付けが不十分だとシートが落下し、おぼれたりけがをするおそれがあります。

6　リモコンホルダーを取り付けます。

リモコンスイッチは、激しく水のかかる場所に放置しないでください。
故障の原因となります。

コードを折り曲げたり、無理に引っ張ったり、またコードの上に重いものを載せるなど、
乱暴に扱わないでください。
断線などの故障の原因となります。

リモコンホルダーの裏面には両面テープが貼ってあります。
表面の紙をはがして、水のかかりにくい位置に貼りつけてください。

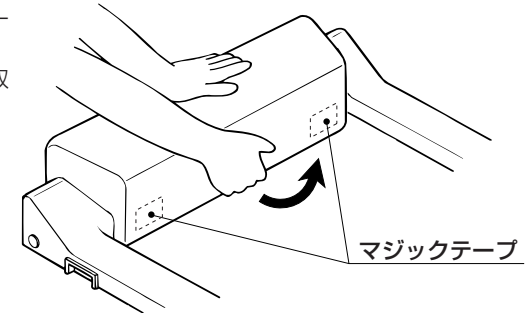
壁面のよごれや水滴をよくふき取ってからリモコンホルダーを貼りつけてください。

7　取り付け状態を確認します。

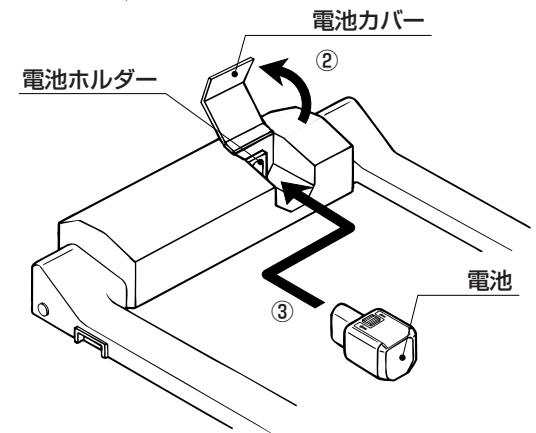
□バスリフトが斜めになっていたり、前後、左右にずれていませんか？
□フック付浴槽内壁ストッパーが浴槽に当たっていますか？
□セーフティーバーが浴槽に当たっていませんか？
□フラップは浴槽寸法に合ったものが取り付けられていますか？
□シートは短いフラップが洗い場側になっていますか？
□リモコンホルダーは水のかかりにくい位置に取り付けられていますか？
□リモコンコードには無理な力がかかっていませんか？

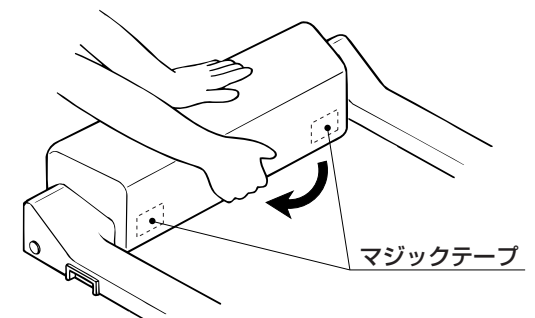
試運転

1　電池を取り付けます。

指定の電池以外はご使用にならないでください。故障の原因となります。

①カバークッションを取り外します。
カバークッションはマジックテープで固定されています。
カバークッションを持ち上げて取り外します。

②電池カバーを開けます。

③電池の向きに注意して電池を電池ホルダーに差し込み、電池カバーを閉じます。

電池が水滴などでぬれている場合は、乾いた布などで水気をふき取ってください。
電池やバスリフトの故障の原因になります。

④カバークッションを取り付けます。
①と逆の要領でカバークッションを取り付け、マジックテープでしっかり固定します。

2 リモコンスイッチを操作します。

バスリフトは、ワイヤーに荷重がかかっていないと、リモコン操作をしても下降しません。
試運転時は、シートを取り付けて行ってください。
このとき､シートに荷重を加えると試運転しやすくなります。

操作上のご注意

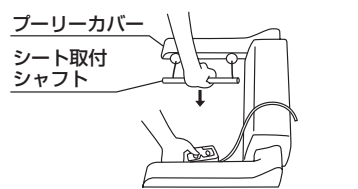
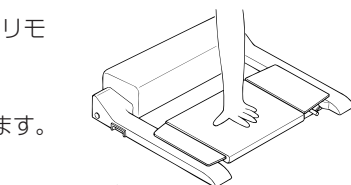
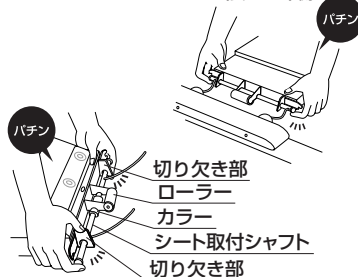
1. シートを付けない状態でリモコンスイッチを操作しないでください。

※内部でワイヤーが巻き乱れを起こし、製品が動作しなくなる可能性があります。

2. シートを付けない状態でワイヤーを一番上まで巻き上げてしまった場合や、リモコンスイッチの「下」ボタンを押してもワイヤーが繰り出されなくなった場合には、以下の手順にしたがって、シートを取り付けてください。

（1）リモコンスイッチの「上」ボタンを押し、左右のシート取付シャフトがプーリーカバーを押し上げ、止まるまでワイヤーを一番上まで巻き上げてください。
（製品内部でのワイヤーのたるみをなくし、たるみを検知するセンサーをリセットさせる方法です）

（2）左右のシート取付シャフトを両方同時に下に押しつけながら、リモコンスイッチの「下」ボタンを押し、最上点より10cm程度下げます。

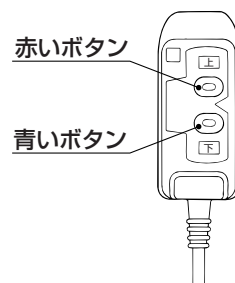
（3）短いほうのフラップを洗い場側に向け、フラップ（長いほう）側から、シートの2カ所の切り欠き部をシート取付シャフトへ「パチン」という音がするまで押し込みます。次にフラップ（短いほう）側も同様に取り付けます。

ポイント

浴槽にお湯がない状態では、シートの荷重だけで下降可能です。

①青いボタンを操作します。

- 青いボタンを押している間､シートは下がり続けます。
- 青いボタンを放せば､シートはその位置で止まります。
- シートが浴槽底面まで下がると停止します。

②赤いボタンを操作します。

- 赤いボタンを押している間、シートは上がります。
- 赤いボタンを放せば、その位置で止まります。
- シートが最上点（アームと座面が同じ高さ）まで上がると停止します。

③電池のリフレッシュ操作を確認します。

- リモコンスイッチの下降ボタン（青）を押しながら電池をバスリフトに差し込んでください。
- リモコンスイッチの電池残量警告ランプが点滅しているか確認してください。

ポイント

点滅中は、リフレッシュ中です。

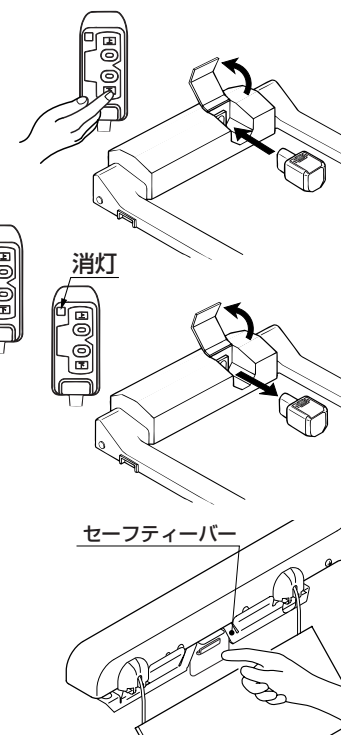
- この状態で昇降しないことを確認してください。（リフレッシュ中は、昇降しません。）
- リフレッシュを終了させるために必ず電池を取り外してください。長時間リフレッシュさせていると、電池の容量がなくなるので、充電する必要があります。

消灯

④セーフティーバーを押し上げた状態で赤いボタンを操作しても上昇しないことを確認してください。
バスリフトにはシートの上昇中にシートとアームとの間に手や指を挟みそうになった場合にシートの上昇を停止させるセーフティーバーが付いています。

- セーフティーバーを押し上げている間、シートは上昇しません。

セーフティーバー

→「バスリフトが動かない!?」など、故障かな？と思われることがありましたら、修理を依頼される前にまず取扱説明書の「故障かな?!と思ったら」をよくお読みください。

3 試運転が終わったら…

⚠警告

必ず実行

使用しないときや、お手入れの前には電池を取り外して浴室外の湿気のない場所に保管する。

- さびの発生と電池の寿命が短くなるおそれがあります。また、昇降動作が停止しておぼれるおそれがあります。

試運転が終わりましたら、電池を取り外しておいてください。
「**1** 電池を取り付けます」の手順にならって電池を取り外してください。

この説明書は、お客様もご使用されます。
施工後に必ずお客様にお渡しください。